

「P i C U B e n」 ユニケが販売開始

P i C U B e n ユニケが販売開始

（株）ユニケソフトウェアリサーチは3月29日、薬剤師による対人業務と生産性の向上を実現する、電子薬歴レセコン一体型システム「P i C U B e n」を販売開始することを発表した。

薬歴作成を効率化し、患者とのコミュニケーションを支援する機能をより強化し、薬局全体におけるICTの最適化を実現する、電子薬歴レセコン一体型のシステム。

超高齢社会の日本では、多剤投与による副作用や残薬の発生が社会問題になっており、その解決を担う薬剤師の対人業務に大きな期待が寄せられている。さらには、昨年9月施行の改正薬機法において、薬剤師が服薬期間中の継続的なフォローアップを行い、医師等へ服薬状況等のフィードバックを行うことが義務化された。

それらを背景にユニケでは、薬局時の薬剤師と患者との対話だけにとどまらず、広く利用されているSNSを活用して継続的なフォローアップを支援する患者コミュニケーションツールであるフォロナビ（特許出願中）を標準搭載した次世代システムとして販売を開始し、患者ごとに最適化された服薬指導を追求し、次世代の薬局を支援するICTサービスを提供する。

P i C U B e nの特長
① 頭書きと薬歴が連携して薬歴入力効率が高くなる。頭書き情報が飛躍的に向上。

② 頭書きの更新と内容の転送を行う。この頭書きと薬歴の同時入力機能により、薬歴入力を省力化し、患者とのコミュニケーション時間を重視することが可能になる。

③ 服薬指導ガイドランスの活用によって最適な服薬指導を実現。

処方薬ごとの副作用情報や生活習慣などに関する指導方針を提供するガイドランスデータを搭載。そのガイドランスシステムが、患者の症状に合わせた最適な指導文を提案することで、薬剤師による指導の質や薬歴の内容を高いレベルで標準化させることができる。

④ 豊富なチェックデータベースで患者にとって安心な調剤を実現。

医薬品・OTC薬品・疾患・アレルギーに加えて、配合変化・投与年齢・生活情報・重複投与などの情報を活用し、調剤に必要な相互作用チェックを行う。確実な調剤監査を実現するだけでなく、服薬指導の際の情報提供に活かすことによって、安心なサービスの提供を実現する。

※ ソフトウェアのライセンスは、月額使用料制。初期費用や法改正、バージョンアップごとの一時的な費用は発生しない。